

一般演題【感染症】 高気圧酸素治療を併用した高齢者の化膿性 脊椎炎に対する治療効果

小長谷健介 村山弘之 荻野秀光
成田富里徳洲会病院 外科

【目的】

超高齢社会に伴い基礎疾患を有する患者や compromised hostに伴い化膿性脊椎炎は増加している。治療として抗菌薬の長期投与を要し、高齢者にとってはせん妄の出現や認知機能の低下、廃用症候群の悪化などが問題となる。また、手術症例では耐術能や術後合併症の問題もあり治療期間の短縮や手術への移行を防ぐ治療戦略が求められる。

【方法】

当院で高気圧酸素治療（以下、HBO）を導入した2020年～2023年現在までに化膿性脊椎炎と診断された60歳以上を対象に、抗菌薬投与とHBOを併用した群と抗菌薬投与のみをした群の2群に分け、C反応性蛋白（以下、CRP）、体温、Numerical Rating Scale（以下、NRS）の値が正常化に至るまでの日数を項目ごとに後方視的に検討した。

【結果】

抗菌薬投与とHBOを併用した群は4例、抗菌薬投与のみをした群は5例であった。Shapiro-Wilk検定より、2群とも正規分布に従わないとはいえないことが確認できたため2標本t検定を適用した結果、いずれの項目も $p < 0.05$ であり優位な差が認められた。（表1）

	mean (day)		p 値
	HBO 併用	抗菌薬のみ	
CRP	19	30.6	0.04
体温	6.5	20.6	0.04
NRS	10.5	28.0	0.03

【考察】

化膿性脊椎炎の治療原則は進行性の麻痺や、脊柱機能破綻などの手術適応を除き、適切な抗生剤投与と局所安静の保存療法である。近年、適応疾患には明記されていないがHBOにはフリーラジカルを含めた活性酸素種（reactive oxygen species）が細菌の細胞

内構造物と細胞壁を障害する殺菌ないし静菌作用があり、抗菌薬の組織移行性を増強する効果もあることから、本症例のHBO併用群は各項目の正常化するまでの期間を優位に短縮することができたのだと考える。よって、化膿性脊椎炎が疑われる場合は高気圧酸素療法が実施可能な施設での治療が望ましい。さらにそのような施設で大規模データを集積すれば、高気圧酸素療法の治療効果を立証できるかもしれない。

【結論】

化膿性脊椎炎の保存加療においてHBOを併用することで治癒促進の効果が得られ、治療による二次的合併症を予防できる可能性がある。